

<Global Synergy Project*>

体験 × 起業家らとの対話 × 異文化交流

タイで学ぶ！！ 食と私たちのサステナビリティ

明治・立教・
法政・関大の
学部生対象



2025.2.11(火) ~ 2.21(金)

【渡航前研修】2月5日(水)および6日(木)(対面)

【事後Meet-Up】3月28日(オンライン予定)

(参加者の顔合わせを2024年11月22日18時に実施予定)

～説明会開催～

10月8日(火)

12:45-13:15

■対象 明治大学、立教大学、法政大学、関西大学の学部生

■企画実施 明治大学国際連携本部および明治大学アセアンセンター(タイ)

*Global Synergy Projectとは、実際の留学とオンラインでの学びを組み合わせ、より効率的な学びを目指すものです。明治大学・立教大学・関西大学・法政大学との連携のもと進めています。

～日本とタイの仲間たちと、タイでだからこそ味わえる特別な体験を～

体験



- ・循環型農業
- ・たい肥づくり
- ・自然エネルギー

対話



- ・国連職員
- ・起業家
- ・実践者
- ・研究者

異文化 交流



- ・タイの学生との交流
- ・自分自身の強み発見

「『現在の農業方法では人間の文明を支えきれないほど
温暖化が進む』かもしれない。（略）
世界各地で農家や科学者、活動家、技師たちが食料生産を
根本から見直している」
（Amanda Little著『サステナブルフード革命』より）

タイでは「食のサステナビリティ」を目指して
誰がどんな想いで、どんな取り組みを行っているんだろう？
そして、サステナブルな未来を創るために、あなたは？



～2023年度参加者の感想から～



・素晴らしいタイの仲間や日本の仲間に出会えたことが嬉しかったです。たくさんの優しさを注いでもらって、大袈裟に聞こえるかもしれませんが、人生の価値観が変わったように感じます。自分自身もそんな人になりたいと思うようになりました。

・英語が通じたことが嬉しかったです！！外国の人としゃべるのがこんなに楽しくて意思疎通ができた時のうれしさがすごかったです。

・大人たちが私たちと一緒にサステイナブルな社会に向けて挑戦してくれようとしていると伝わってきて純粋に感動しました。環境問題を解決に向かわせなければいけない理由としてよく挙げられるのは、将来の世代が背負う負担を減らすということです。それを実際に今真剣に取り組んでいる姿を見て、自分もその一員なのだと実感できました。

・仲間がたくさんできた。他学部や他大学の学生と普段交流することがないため、今回のプロジェクトをきっかけに仲良くなれて嬉しかった。他学部の学生から出る意見や感想は自分には思い浮かばない発想が多く、とても勉強になった。物事に対し多角度から見ることの重要性を学んだ。

タイの学生とも交流を深めることができて嬉しかった。一週間でこんなに仲良くなれると思わなかった。タイの学生の優しさに触れて、自分も人に優しくしよう、思いやりを持とうと思った。

・就活や、プロジェクトなど色々同時並行してやるのが沢山あったので、本来ならくべきタイミングじゃないとは思ったのですが、今だからこそ、このプログラムに参加してよかったと私は思います。

就活をすると柔軟に考えようと思っていてもいつの間にか視野が狭く凝り固まったものになっていたもので、この機会に色々な価値観にふれ、考えることができたのはすごく良かったです。



<2023年度参加者の帰国後の様子>

神奈川県内にあるフレンチシェフの方の農場で、関東在住の有志メンバーが農作業に参加したり気候変動緩和策にゆるっと取り組み中です。いろんな方々との交流も楽しんでいます。



渡航前研修	
顔合わせ（対面またはZOOM） 11/29（金） 18:00～（2時間程度）	プログラム説明・自己紹介など
第一回目（対面およびZOOM） 2/5（水） 9:00-17:30（最長）	・自分の強みの理解、タイ文化やタイ語を学ぶ （タイの大学生も参加予定）
第二回目（対面） 2/6（木） 9:00-17:30（最長）	・日本国内の「サステナビリティの取組み」の 理解（視察含みます）

タイでの研修	主な内容
■第1日目 2/11（火）	・空港集合 羽田発 バンコク着（夕方） ・ホテルチェックイン
■第2日目 2/12（水）	・タイと日本の仲間達と自己紹介 ・「フードセキュリティって何？」研究者との対話
■第3日目 2/13（木）	・国連訪問、「国連は食にどう取り組む？」職員との対話
■第4日目 2/14（金）	・循環型・都市型ルーフトップファーム（現場） ・虫を活用した循環型農業およびアップサイクル（現場）
■第5日目 2/15（土）	・自然エネルギーを活用した循環型農業（現場）
■第6日目 2/16（日）	・循環型農業を核とした地域づくり（現場）
■第7日目 2/17（月）	・「フードロスをみんなでどう解決？」国際NGOとの対話
■第8日目 2/18（火）	・グループでのクリエイティブワーク
■第9日目 2/19（水）	・学びのまとめ
■第10日目 2/20（木）	・チェックアウト、自由行動 バンコク発（深夜）
■第11日目 2/21（金）	・羽田着（早朝）

帰国後(ZOOM)	
3/28（金） 13:00-14:00	オンラインMeet-Up（近況と進捗のシェア）

<協力機関>

- ・シーナカリンウィロート大学
- ・UNEPバンコク事務所
- ・Scholars of Sustenance
- ・Pinfah Farm
- ・Wastevegetable Farm
- ・Uncleree Farm
- ・ResQ farm
- ・東京都内ホテル
- ・神奈川県農業法人



応募方法

登録	■応募期間：2024年10月1日(火) - 10月18日(金)17:00厳守 formsあるいはQRコードよりご応募ください。 https://forms.office.com/r/X1Tv8FWZyg ※記入いただく項目が多く、またアップロードいただくデータもあるため、 パソコンやiPadなど文字打ちがしやすい機器からの記入がお勧めです [問い合わせ]明治大学国際連携事務室 Email: gogaku23@meiji.ac.jp	
インタビュー	応募者多数の場合、10月28日(月)～10月30日(水)に、オンラインでインタビューを10分程度実施します。 ※本プログラムへの登録フォームに面接希望日と時間帯の記載があります。希望の時間帯を指定して下さい。なお、実際にインタビューを行う時間枠の指定は当大学で行ないます。	
結果	インタビューを踏まえた参加者決定のご連絡は11月6日(水)中(予定)にお伝えします。 ※応募者の関心事項等と本プログラムの内容との関連や全体のメンバー構成のバランス等を踏まえて決定しています。	
参考	説明会(ZOOM):10月8日(火)12:45より30分程度 https://zoom.us/j/98086679401?pwd=Sf93qbzDWfl7yjFwaamawb94RyUfba.1 ミーティング ID: 980 8667 9401 パスコード: 880232 <以降のスケジュール> ・募集締め切り10月18日(金)17:00厳守 ・インタビュー(応募者多数の場合・オンライン):10月28日(月)～10月30日(水) ・参加者決定の連絡:11月6日(水)中(予定) ・参加者の顔合わせ 11月29日(金) ・申込金50,000円納入期限:12月4日(水) ・渡航費残金納入期限:1月中旬	

プログラム概要

日程	● 渡航前研修(2回) 対面(一部ZOOM)で行います。 2月5日(水)および6日(木) ● タイへの渡航(9泊11日) 2月11日(火)から2月21日(金)
使用言語	● 講義の使用言語:英語 ● タイの学生との交流:日本語および英語 ● 渡航前研修:日本語
引率	羽田空港出発時から明治大学の教職員が引率します。 また、現地では明治大学アセアンセンター(タイ)のスタッフも同行します。
参加要件	・明治大学、立教大学、法政大学、関西大学に在籍する学部生。 ・CEFR B1以上相当(IELTS4.0、TOEIC550、TOEFLiBT42以上)のスコアを取得していること。スコアシートの提出は不要。 ・渡航前研修を含む全日程に参加ができること。 ・自身の強みに関するアセスメント(ストレングスファインダーテスト)を受検し、2024年11月16日(土)までに結果を参加教職員と参加学生に共有できること。 (テスト(2,500円程度、個人負担)の受検方法は参加者にお知らせします。)
募集定員	(日本側の学生) 10～14名程度(最少催行人数 9名)
修了証	渡航前研修及び現地渡航研修を通じて所定の成績をおさめた学生には修了証を発行します。 *単位の付与はありません

経費関連

参加費用

約205,000～220,000円

（上記費用は確定料金ではありません。為替レートの変動等から、確定金額は参加者決定後にお伝えいたします。なお、緊急事態等やむをえない事情で参加者が8名以下になった場合に、団体旅行の適用が受けられないため、費用が上記金額以上となる可能性がありますので、予め承知願います）。

【明治大学生のみ】

明治大学グローバルシナジー・プロジェクト海外留学奨励金（学部生対象）に応募可能なプログラムです。受給者に決定した場合、**4万円（給付型/返還不要）の助成金を受給**できます。応募方法・資格等については奨励金募集要項をご確認ください。

<https://www.meiji.ac.jp/cip/financial/kokusaikasupport.html>

【参加費用に含まれるもの】

- ・プログラム費用
- ・ホテル代(朝食込)※**他学生との2人部屋です。**
- ・現地視察代金・視察バス代金
- ・往復航空運賃※(エコノミークラス利用)
※空港利用料・海外空港税・燃油特別付加運賃・国際観光旅客税含む

【参加費用に含まれないもの】

- ・参加費用銀行振込手数料
- ・各大学指定の海外旅行保険料
- ・渡航手続き諸費用(パスポート取得時の印紙代等)
- ・自宅⇄空港間の交通費(往復)
- ・現地での食事代
- ・事前課題著書購入費(2,500円程度)
- ・現地での交通費、個人的な小遣い、通信費、その他雑費

費用振込先

費用は全額、今回の手配旅行を依頼する**株式会社京王観光**にお振込みいただきます。支払先情報は、参加確定者に改めてお知らせします。

*同社の営業時間は10:00～15:00です。15:00以降は翌日の取扱いとなるのでご注意ください

■申込金50,000円の納入期限:12月4日(水)

■渡航費用残金の納入期間:1月中旬

キャンセルポリシー

最少施行人数に達し、本プログラム開催が確定した日以降、申し込み者の都合でプログラム参加を見送る場合は、以下のキャンセル料が発生します。

※返金時の銀行振込手数料は、参加学生ご本人負担となります。

- (1) 31日目に当たる日(2025年1月11日)以前の解除
⇒企画料金(16,750円)に相当する額
- (2) 30日目に当たる日(2025年1月12日)以降の解除(3)～(4)を除く)
⇒旅行代金の20%
- (3) 旅行開始日の前々日(2025年2月9日)以降の解除
⇒旅行代金の50%
- (4) 旅行開始後(2025年2月11日当日以降)の解除または無連絡不参加
⇒旅行代金の100%

安全管理関連

海外旅行傷害保険

プログラム参加確定後、各大学指定の海外旅行保険にご加入いただきます。

※海外旅行保険費用は、プログラム費用に含まれません

- ・立教大学生：海外渡航期間をカバーする日程で、必ず以下の指定の保険に加入すること。
指定保険：「立教大学 学研災付帯海外留学保険（通称：付帯海学、東京海上日動火災保険株式会社）」申込窓口：立教ほけんプラザ
- ・法政大学生：海外渡航期間を全てカバーする日程で、法政大学指定の海外旅行傷害保険へ加入すること。
加入手続きは、参加決定後に個別にお知らせします。
- ・関西大学生：必ず関西大学が指定する以下の保険に加入すること。
指定保険：「関西大学 海外旅行包括保険」（ジェイアイ傷害火災 保険株式会社）
及び24時間365日サポートサービス「関大TRS」（JTB京都支店）
申込窓口：JTB京都支店
- ・明治大学生：必ず株式会社明大サポートにて、お手続きいただきます。
手続き方法は参加決定後にお送りいたします。

その他

参加決定後に参加者の方には、旅行参加に係る誓約書を提出いただきます。

お問い合わせ: gogaku23@meiji.ac.jp 明治大学国際連携事務室 担当: 短期プログラム

※お問い合わせの際には、メールの件名に「明治大学グローバルシナジープログラム」とお書きいただくとともに、本文に所属大学と学年、氏名をお書きください。